

腎臓移植について



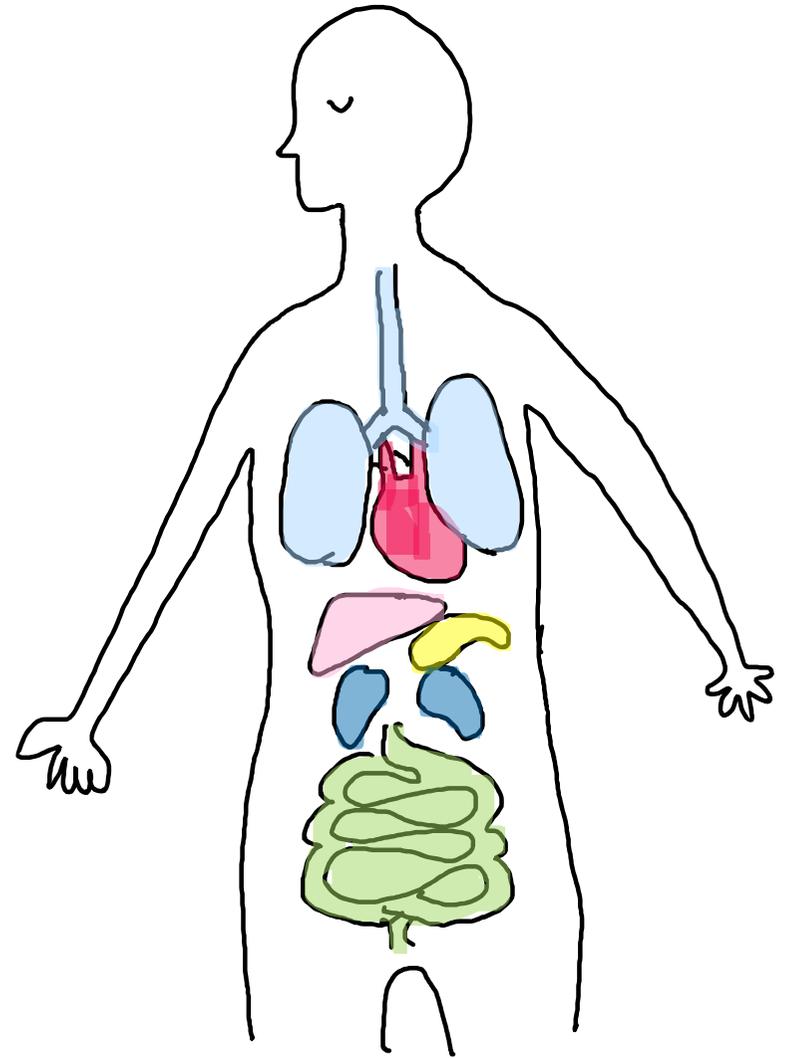
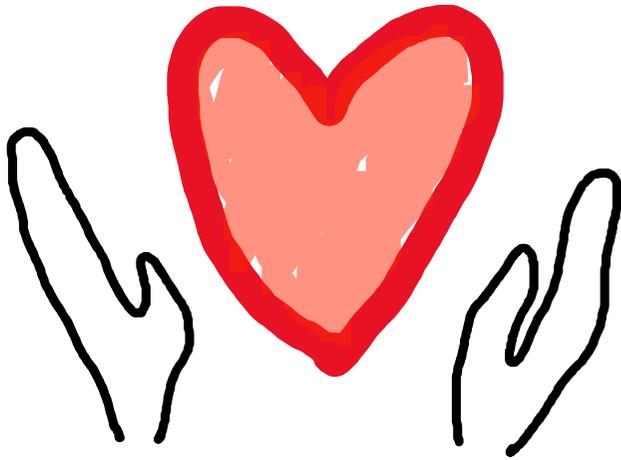
芝池じゅんあい薬局 実習生
同志社女子大学 丸山莉央

臓器移植 1

重い病気や事故などにより臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器と取り替えて機能を回復させる医療

ドナー（提供者）

レシピエント（受者）



臟器移植 2

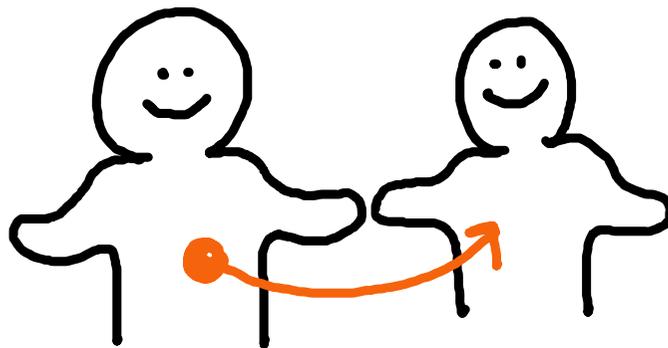
- 腦死後臟器移植



- 心停止後臟器移植



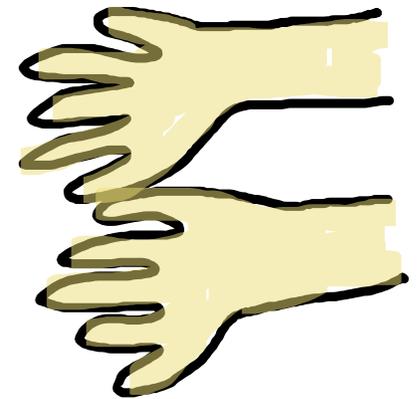
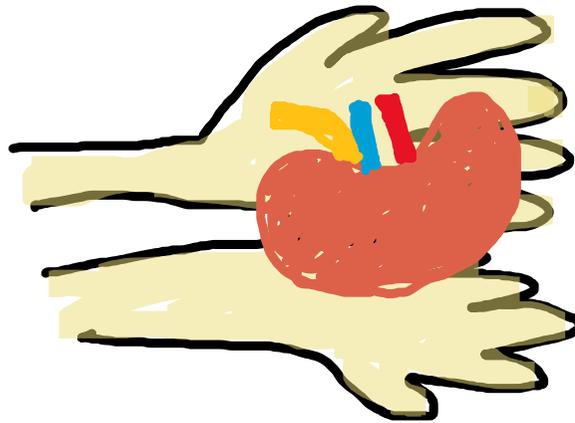
- 生体臟器移植



生体腎移植

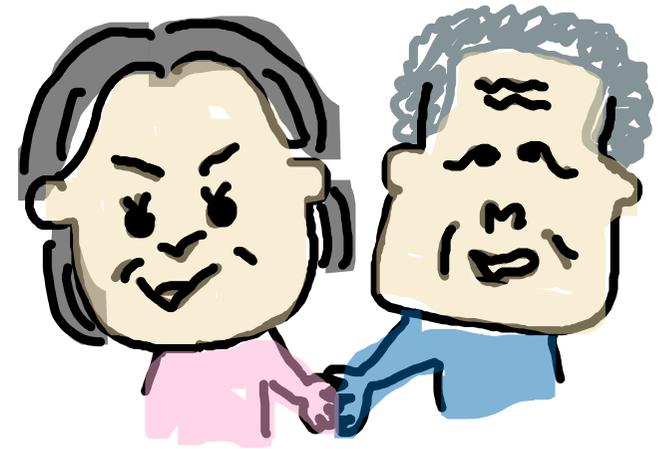
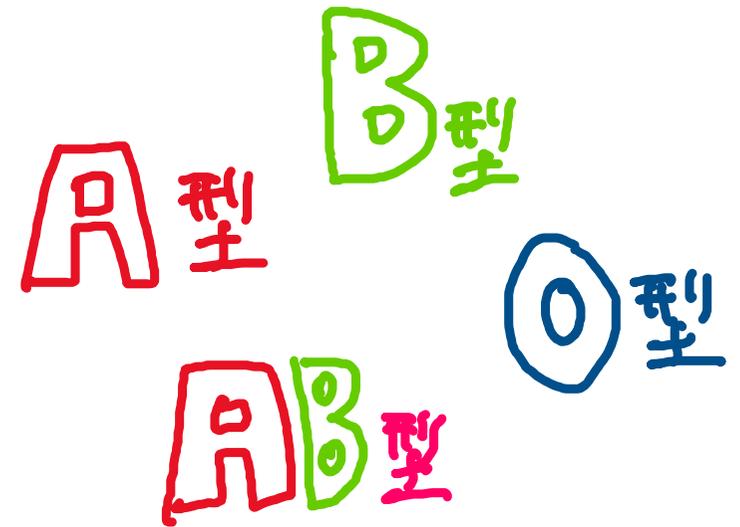
- なぜ腎移植が必要？

- 透析では正常の腎機能のを十分に補えない
- 透析による合併症
- 生活の質が下がる



腎移植のドナーの条件

- 6親等以内の血族、配偶者、3親等以内の姻族であること
- 心身ともに健康な性腎であり、意思表示がしっかりできる人で、自発的に腎臓の提供を申し出ていること
- 二つの臓器が機能しており、腎臓の働きが良好であること
- 全身性の活動性感染症、悪性腫瘍などに罹患していないこと



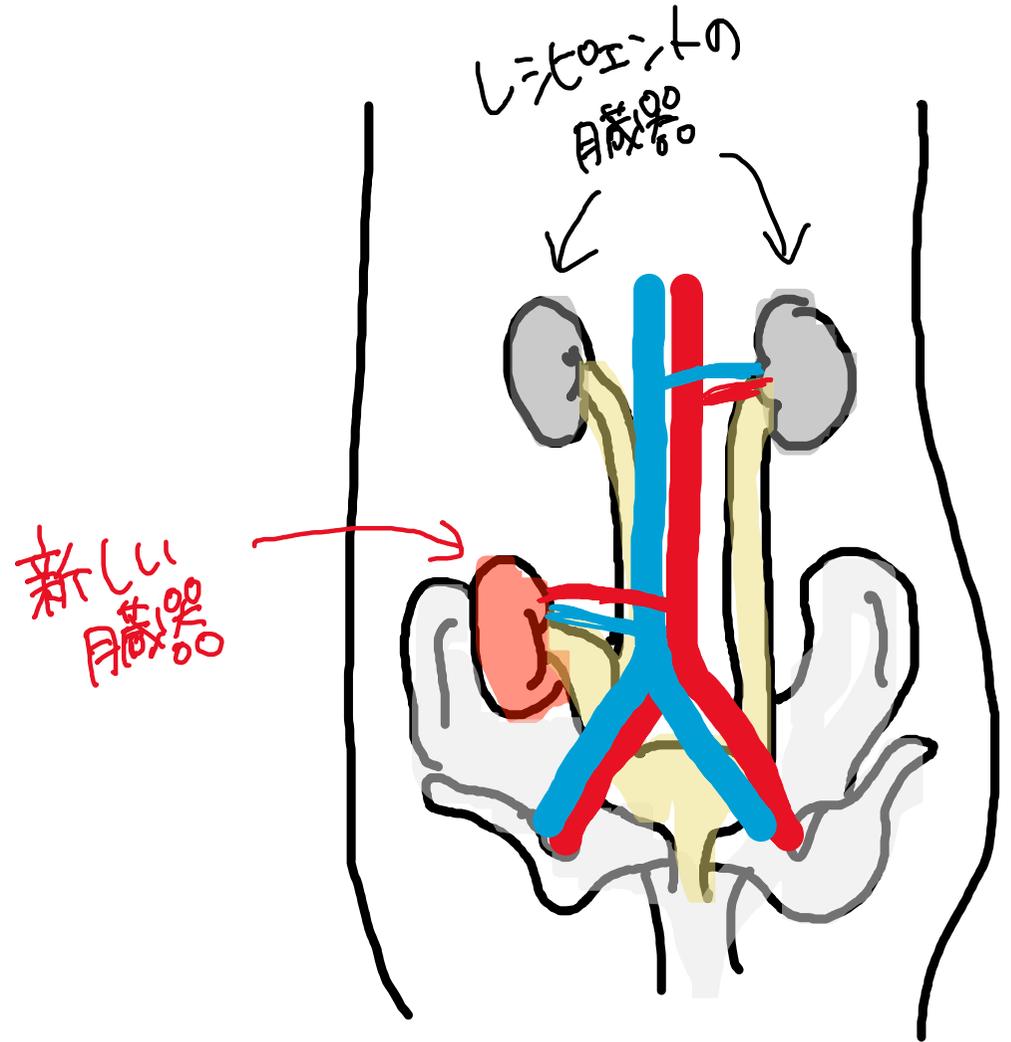
ドナーのリスク

- 腎機能は提供前の70~75%
- 腎不全となることはまれ
- 高血圧、蛋白尿が認められることがあり心臓病や慢性腎臓病に進行する可能性がある
- 肥満になりやすい
- 定期的な受診が必要



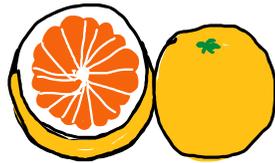
腎移植の手術

- レシピエントの腎臓はそのまま残し、提供された腎臓を骨盤の左右どちらかに移植
- 提供された腎臓の動脈、静脈をそれぞれレシピエントの血管に繋ぎ合わせ、尿管を膀胱につなぐ



令和 年度 第 期 大学名 _____ 氏名 _____

処方解析



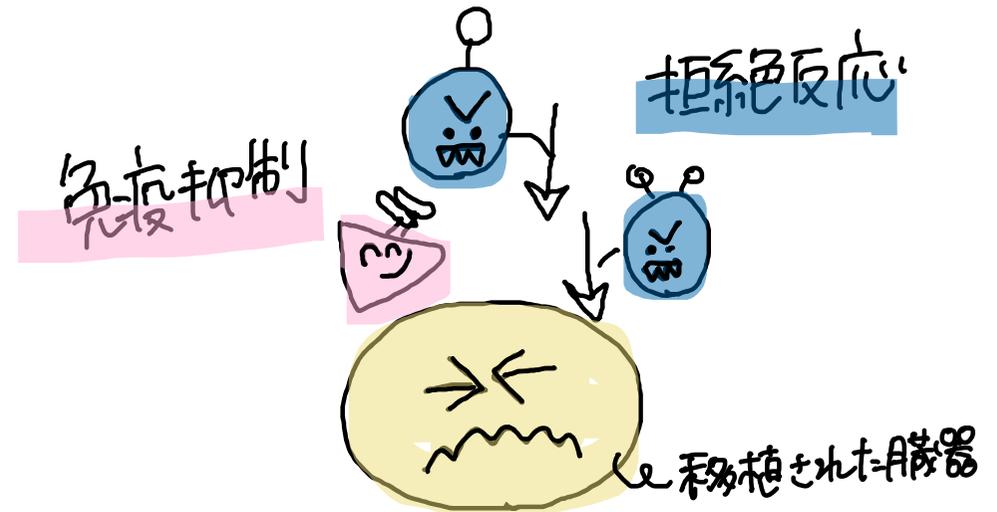
c			作成時間	時間
採 択 理 由				
処方箋か と記録か ら得られ る情報	場 面	患者 面談		
	診療科	年齢 ・ 性		
	処方内容	(一般名も併記すること)		
	併用薬 ・ 薬歴 ・ 検査値 ・ 持参薬			
解 析 内 容	予測される疾患名			
	添付文書との相違 疑義照会の必要性	添付文書との相違： 無 疑義照会の必要性： 無		
	薬剤管理指導を行うにあ たり、薬剤師として意識 をしておくこと	例：作用機序、用法用量、投与回数、投与間隔、検査値、副作用など必要な項目について記載		
	今回の処方内容から必要 とされる患者への聞き取 りと観察項目 (項目だけを記載)	例：食事摂取量、塩分摂取量、水分摂取量、排便状況、排尿状況、目覚めの状況、睡眠の状況など		
	患者に説明する内容			
	使用した資料 (複数可)			
解析を通して感じた事				

症例解析報告発表会 — 質疑応答の記録 —	報告日：令和 年 月 日 () 報告時間： 分 参加した症例解析メンバー： 人
--------------------------	--

- バクタ配合錠 1錠(1日1回)朝食後 火・木・土に服用 (スルファメトキサゾール・トリメプリム製剤)
- ラベプラゾールナトリウム塩錠10mg 1錠(1日1回)朝食後
- タムスロシン塩酸塩OD錠0.2mg 1錠(1日1回)寝る前
- グラセプターカプセル1mg 3カプセル(1日1回)朝食前(タクロリムス)
- シルニジピン錠10mg 2錠(1日1回)寝る前
- サーティカン錠0.5mg 2錠(1日2回)朝・夕食後(エベロリムス)
- セルセプトカプセル250mg 2カプセル(1日2回)7時、19時(ミコフェノール酸モフェチル製剤)
- ニューロタン錠25mg 1錠(1日1回)夕食後(ロサルタンカリウム)
- トラゼンタ錠5mg 1錠(1日1回)朝食後 (リナグリプチン)
- デキサメタゾン口腔内軟膏

免疫抑制剤 1

- 移植によりドナー由来の細胞を非自己として認識して攻撃する拒絶反応を抑える
- 三剤併用療法
- 副作用、注意点、相互作用が多い
- TDMが必要
- 感染症に注意 → 重篤な感染症 (ニューモシス肺炎, 真菌感染)
- 生ワクチン接種禁忌



免疫抑制剤 2

• 三剤併用療法

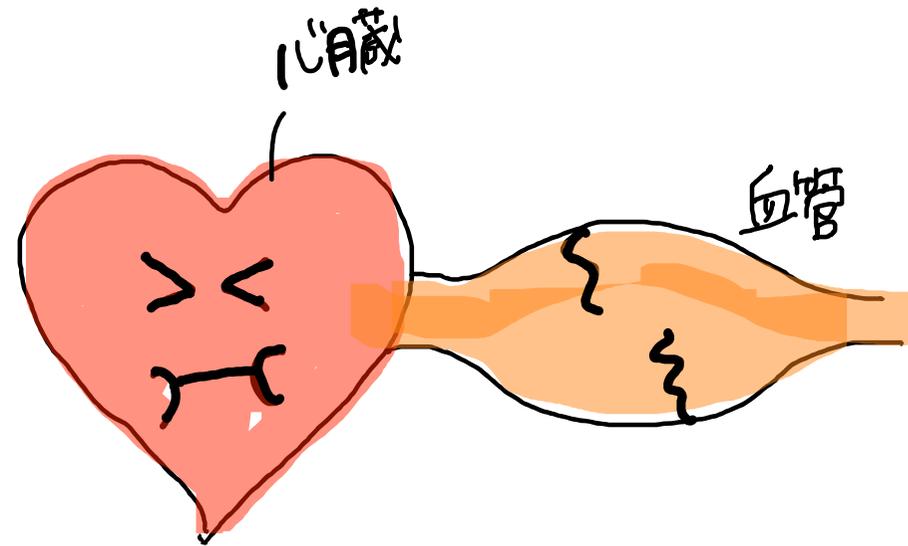
① カルシニユールン阻害薬 → 減量・中止できる!

② 代謝拮抗薬

③ ステロイド → イハ"ロリ4ス
副作用(多) 副作用(少)

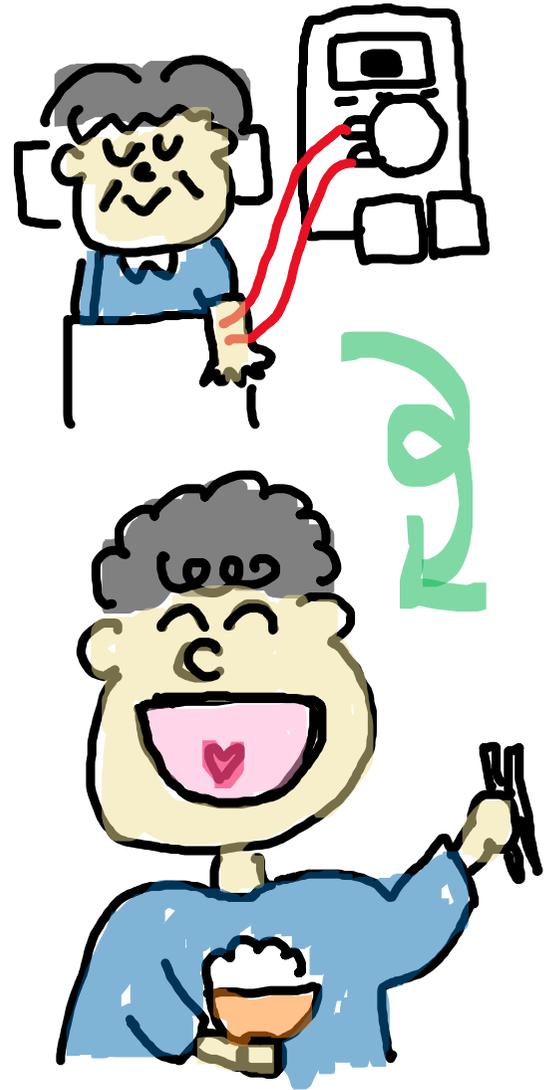
腎移植患者さんの高血圧症

- 移植後は慢性腎臓病（CKD）の状態、移植腎機能が悪化すると高血圧が重症化し、さらに移植腎機能が悪化する
- 速やかな降圧が必要
- 目標130／80未満



まとめ

- 腎臓を移植することで透析をしなくてよくなり、透析による時間的な制約や厳しい食事・水分制限から解放されるが、移植による拒絶反応などの合併症や、数種類の薬を飲み続けなければならないというデメリットもある
- 移植手術には免疫抑制剤が必要不可欠であり、その免疫抑制剤によっておこるさまざまな合併症にも注意が必要
- 副作用がより少ない安心して飲める薬が開発されますように！



参考文献

二本臓器移植ネットワーク

<https://www.jotnw.or.jp/explanation/05/01/>

一般社団法人 全国腎臓病協議会 全腎協

<https://www.zjk.or.jp/>

東京女子医科大学病院 泌尿器科 腎臓病総合医療センター

<https://www.twmu.ac.jp/KC/Urology/disease/kidney/>

ご清聴ありがとうございました

